

新潟県の地震概況 令和6年(2024年)8月

令和6年9月10日

新潟地方気象台

【8月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は3回（最大は震度2）でした。新潟県とその周辺（図1）で発生した地震で、県内で震度1以上を観測した地震は1回でした。（「期間内に発生した主な地震」を参照）

【8月に新潟県周辺で発生した地震】

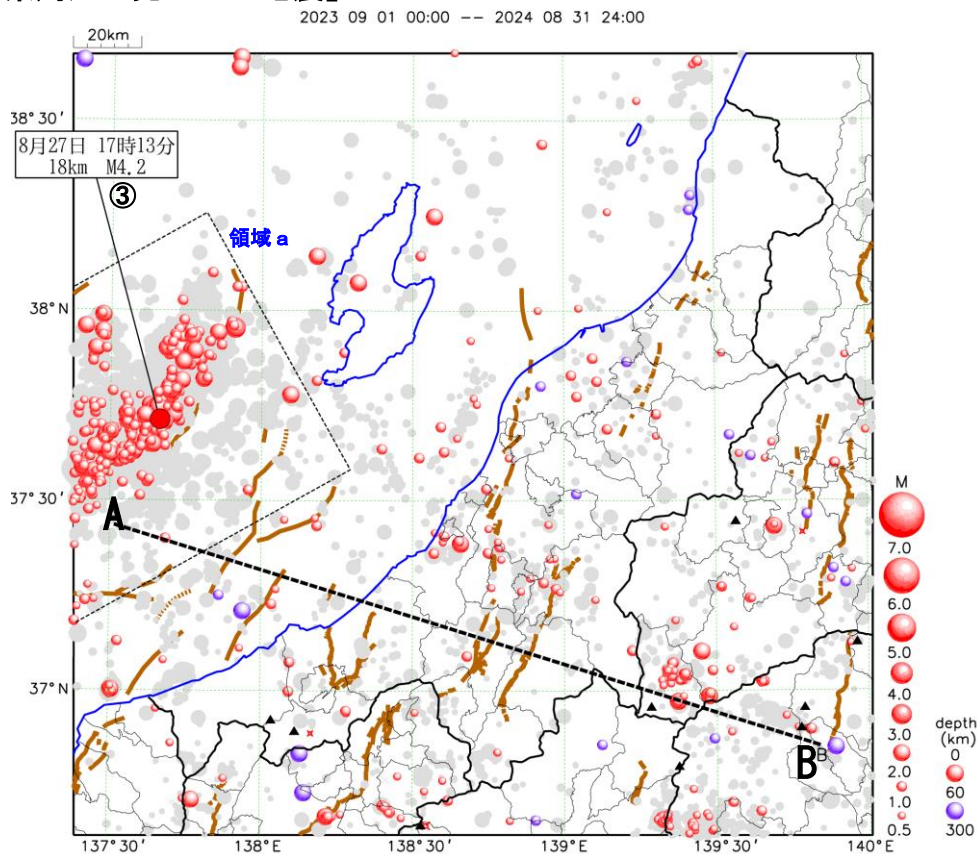


図1 震央分布図（深さ0~300km、M0.5以上）

※過去1年間の地震を表示。令和6年8月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、✕は深部低周波地震を示す。

※領域 a は令和6年能登半島地震の活動域を示す。

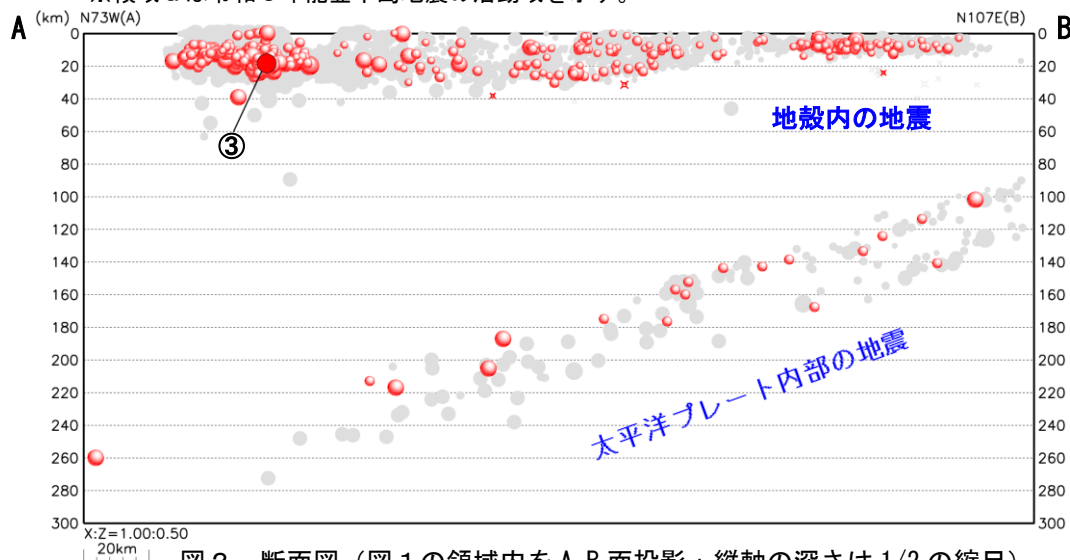


図2 断面図（図1の領域内をA-B面投影：縦軸の深さは1/2の縮尺）

【期間内に発生した主な地震】

- ① 9日19時57分 神奈川県西部の地震 (M5.3、深さ13km) により、神奈川県で震度5弱を観測したほか、関東甲信地方、東海地方、新潟県及び滋賀県で震度4～1を観測しました。新潟県内では南魚沼市で震度2、刈羽村で震度1を観測しました。

この地震の震央付近は普段から地震活動のある領域です。

- ② 19日00時50分 茨城県北部の地震 (M5.1、深さ8km) により、茨城県で震度5弱を観測したほか、東北地方南部、関東地方及び新潟県で震度4～1を観測しました。新潟県内では中越地方を中心に震度1を観測しました。この地震は地殻内で発生しました。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震が増加した地域です。

○令和6年能登半島地震

令和6年能登半島地震の地震活動は、2020年12月から3年以上続いており、1月1日に発生したM7.6の地震からは8ヶ月以上が経過し、地震の発生数は増減を繰り返しながら、大局的には緩やかに減少してきていますが、6月3日にM6.0の地震が発生するなど依然として地震活動は活発な状態です。

8月中の最大規模の地震は、③27日17時13分 佐渡付近 (最大震度1) で発生したM4.2の地震です。震度1以上を観測した地震は18回発生^(注1)しており、その内、新潟県で震度を観測した地震は1回 (上越市で震度1) でした。

注1) 震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合があります。

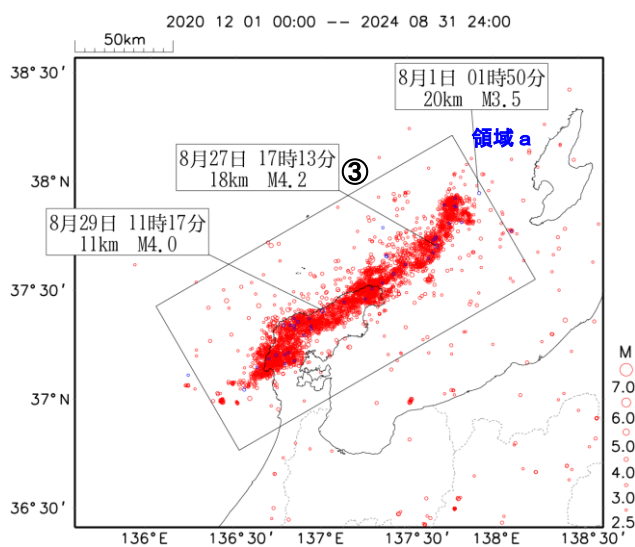


図3 震央分布図 (深さ0~30km、M2.5以上)

- ・ 図3の吹き出しは2024年8月に発生した、最大震度3以上の地震又はM3.5以上の地震
- ・ 図4の左側縦軸はマグニチュード、右側縦軸は地震の積算回数
- ・ 2020年12月~2024年7月に発生した地震を赤色、2024年8月を青色で示した

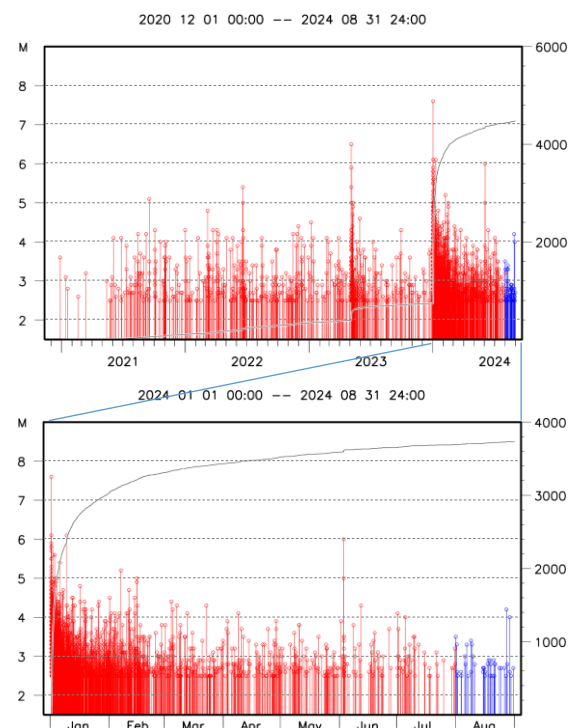


図4 図3の領域a内の活動経過図及び回数積算図

※丸番号は、【新潟県内で震度1以上を観測した地震】の一覧表に掲載している番号です。

【新潟県内で震度 1 以上を観測した地震】 期間 2024年 8 月 1 日～2024年 8 月31 日

※ *1は令和 6 年能登半島地震の活動域内で発生した地震

地震の発生日時（年/月/日/時:分）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 * は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
① 2024年08月09日19時57分	神奈川県西部	35° 24.6' N	139° 09.6' E	13km	M5.3	5弱
震度 2 : 南魚沼市六日町						
震度 1 : 刈羽村割町新田*, 南魚沼市塩沢庁舎*						
② 2024年08月19日00時50分	茨城県北部	36° 43.0' N	140° 37.2' E	8km	M5.1	5弱
震度 1 : 長岡市山古志竹沢*, 三条市荻堀*, 魚沼市須原*, 南魚沼市六日町, 阿賀野市姥ヶ橋*						
③ 2024年08月27日17時13分	佐渡付近	37° 42.7' N	137° 39.8' E	18km	M4.2	1 *1
震度 1 : 上越市木田*						

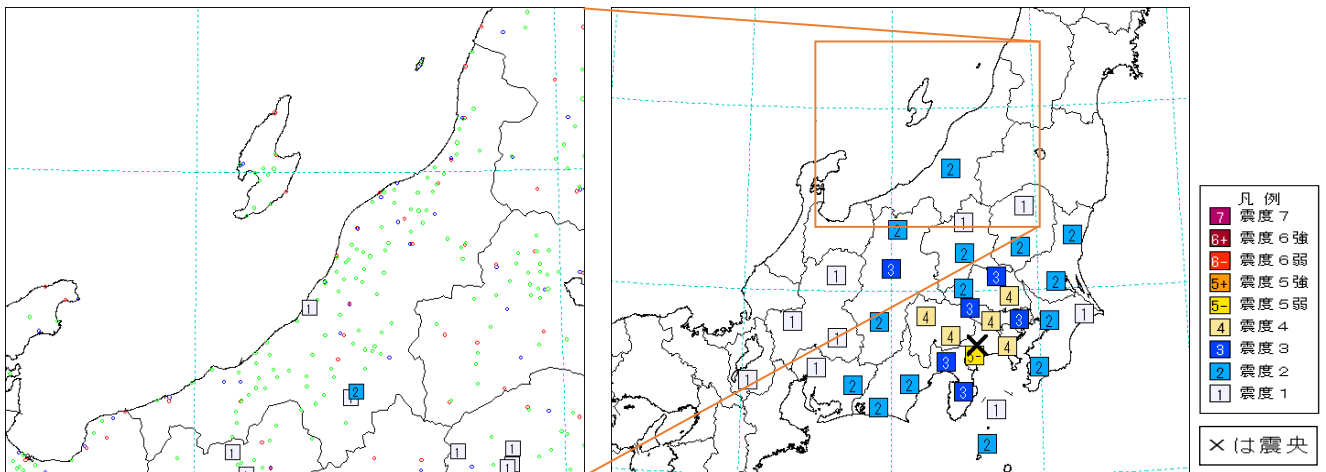
【震度分布図】

図中 ○ は震度観測点を示す

① 9 日19時57分 神奈川県西部

観測点別震度分布図

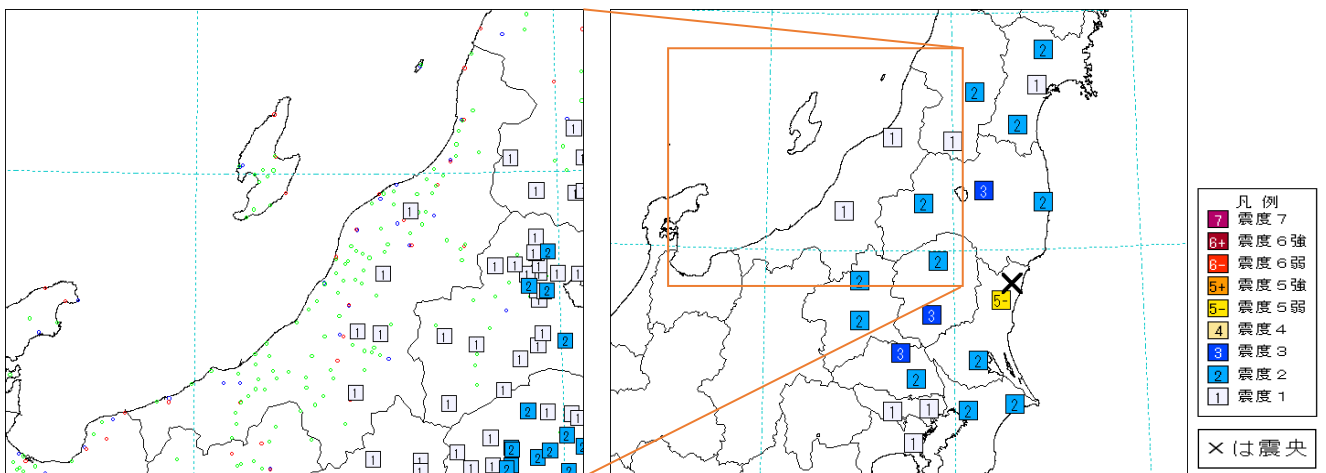
地域別震度分布図



② 19日00時50分 茨城県北部

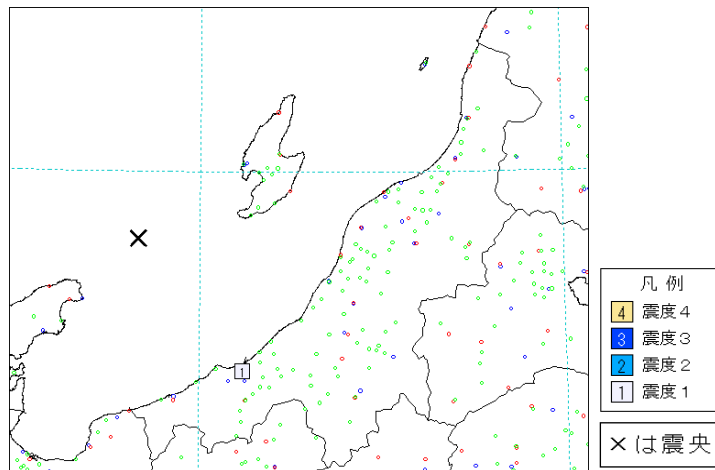
観測点別震度分布図

地域別震度分布図



図中 ○ は震度観測点を示す

③ 27日17時13分 佐渡付近
観測点別震度分布図



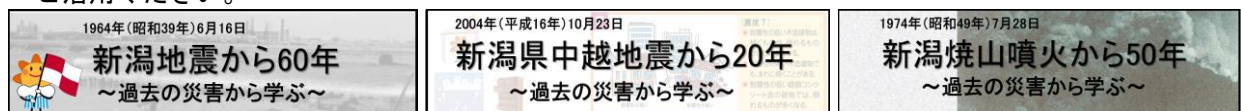
【新潟県内で最大震度1以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2023 年				2024 年								
月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	合計
震度1	3	1	3	3	96	6	7	1	2	6	6	2	136
震度2	1	0	1	1	32	4	1	2	0	1	0	1	44
震度3	0	0	1	0	12	3	0	0	0	0	1	0	17
震度4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
震度5弱	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
震度5強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度6弱	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	4	1	5	4	143	13	8	3	2	8	7	3	201

【過去の地震・津波災害から学ぶ】

○2024年は新潟地震から60年、新潟焼山火山災害から50年、平成16年(2004年)新潟県中越地震から20年という、災害の発生から節目の年となります。県内に「防災・減災 新潟プロジェクト 2024」が立ち上がり、気象台も参加しています。 <https://www.hrr.mlit.go.jp/project2024/>

※気象台ではこの活動の取組の一つとして、これらの特設サイトを開設しました。(令和6年4月26日)
過去の大災害から学び、日頃から地震や津波、火山噴火への備えを心がけると共に、防災教育等にもご活用ください。



新潟地方気象台HPのトップページで各サイトへのリンクを掲載しています。

【令和6年能登半島地震の各種資料】

○令和6年能登半島地震の関連情報
関連報道発表等の地震関連情報の他に、被災地向けの気象支援資料なども掲載されています。

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20240101_noto_jishin.html

令和6年1月 地震・火山月報(防災編)に特集ページとして掲載されています。

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202401/202401index.html>

令和6年能登半島地震の地震活動と防災事項ポータルサイト

<https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html>

注) 利用にあたって

- ・資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- ・新潟県内で震度1以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内のみを記述しています。
また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- ・気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注1)、文部科学省と協力して処理を行っています。
また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

- ・この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- ・資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

【地震・津波一口メモ】

地震本部地域講演会 in 新潟市

新潟地震から60年 ～過去に学び、将来に備える～

地震本部地域講演会 in 新潟市
新潟地震から60年
～過去に学び、将来に備える～

日時 2024年10月6日(日) 13:30-16:00
会場 新潟市東区プラザ (新潟市東区下木戸1丁目4番1号 (東区役所2階))

参加費無料
定員:先着300名
※事前登録優先

事前登録優先ですが登録しなくてもご参加いただけます
事前登録はこちらから  <https://form.run/@niigata-jishin-kouenkai-entry>

今年1月1日には、能登半島で大きな被害をもたらす地震が発生しました。また、今年は、新潟地震が発生してからちょうど60年になります。地震はいつ、どこでも発生する可能性があります。このような地震災害に一人一人が備えるために、地震本部、気象台、新潟県、新潟市が連携して地震本部地域講演会を開催します！60年前の新潟地震のことや、最新の調査や研究による新潟県で発生する地震・津波の特徴、このような地震災害に対する政府の取組などを知って、自分の住んでいる地域の特性をふまえた災害への備えを考えてみましょう。

プログラム
■これまでの地震本部の活動とその成果
文部科学省 研究開発局 地震火山防災対策推進課 地震調査管理官 上野 寛
■新潟地震と地震災害
新潟大学工学部 復興科学研究科 教授 / 所長 ト部 厚志
■新潟地震と新潟周辺の震源断層を探る
東京大学名誉教授 / 静岡大学防災総合センター 客員教授 佐藤 比呂志
■気象庁が発表する地震・津波の情報
新潟地方気象台 台長 田中 浩一
■新潟地震と災害報道
新潟大学防災科学研究科 教授 入江 さやか

写真が液状化により砂に埋もれたトラック(新潟地方気象台ホームページ「新潟地震から60年」特設サイトより引用)

今年1月1日には、能登半島で大きな被害をもたらす地震が発生しました。また、今年は、新潟地震が発生してからちょうど60年になります。

地震はいつ、どこでも発生する可能性があります。このような地震災害に一人一人が備えるために、地震本部、気象台、新潟県、新潟市が連携して地震本部地域講演会を開催します！

60年前の新潟地震のことや、最新の調査や研究による新潟県で発生する地震・津波の特徴、このような地震災害に対する政府の取組などを知って、自分の住んでいる地域の特性をふまえた災害への備えを考えてみましょう。

詳細は、地震本部、新潟地方気象台、新潟県、新潟市の共同報道発表資料をご覧ください。

日時：2024年10月6日(日) 13:30～16:00

会場：新潟市東区プラザ(東区役所2階)

新潟市東区下木戸1-4-1

事前登録優先：(参加費無料、先着300名)

<https://form.run/@niigata-jishin-kouenkai-entry>

※パネル・ポスター展示を12:30から開催しています！



(地震本部案内)



(共同発表資料)

(共同発表資料 URL)

https://www.data.jma.go.jp/niigata/menu/2024project/niigata_files/20241006niigata_jisinkouenkai.pdf